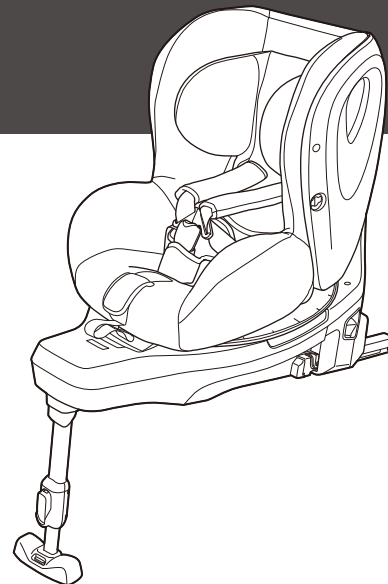


△ Child Guard 1.0 シリーズ

取扱説明書



タカタ株式会社

商品についてのお問い合わせ・お客様相談室

フリーダイヤル

 0120-70-5441

受付時間: 10時~17時/但し、土日、祝祭日は除きます

〒106-8488 東京都港区六本木1-4-5

ご使用前に必ずお読みいただき、取扱説明書に従い正しくご使用ください。
また、いつでも読めるように大切に保管してください。

このチャイルドシートは、自動車事故などの際に衝撃を緩和することを目的につくられた
年少者用補助乗車装置です。

チャイルドシートの確実な取り付けとともに安全運転をお願い申し上げます。

製品情報・表示について

本製品はISOFIX型チャイルドシートです。
ISOFIX取り付けバー(P9参照)を装備した自動車で使用することを目的として、
協定規則44号の第4改訂版(UN R44/04)に基づき認可されています。

グループ：0+ I (対応する幼児の体重：新生児～18kg)

カテゴリー：セミユニバーサル(準汎用)型

ISOFIXサイズクラス：A,B,B1,C

当製品は、安全、品質の確保に細心の注意を払って製造・販売しておりますが、万一リコール等がありました場合に、速やかにお客様にご連絡し、修理等をさせていただきたく、お客様登録をしていただきたいと思います。つきましては、WEBでの登録もしくは、お客様登録カードに、お名前、ご住所、お電話番号をご記入いただき、弊社お客様登録カード係までお送りいただきたくお願いいたします。

この取扱説明書には、安全にご使用いただくために、
特にお守りいただきたいことを、次のマークで表示しています。
これらの記載内容は重要ですので、しっかりとお読みください。



取り扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負うおそれがある内容を示しています。



取り扱いを誤った場合、傷害を負うおそれがある内容、または物的損害の発生が予想される内容を示しています。



アドバイス

チャイルドシートをご使用になる上で守っていただきたいこと、および知っておくと便利なことを示しています。



図示されている行為の禁止を示しています。

目次

製品情報・表示について	1
ご使用前に	使用条件と基本的な使用方法 3
	各部の名称と付属品 5
	運搬時、使用時の正しい持ち方 7
	緊急時には 8
	ご使用上の注意 9
取付け方・外し方	車にチャイルドシートを取り付ける 19
	回転操作方法 27
	リクライニング操作方法 28
	車の座席の調整について 29
	取り付けチェック 30
	車からチャイルドシートを取り外す 31
使い方	サンシェードの取り付け、取り外し 35
	サンシェードの使い方 37
	肩ベルトの高さ調節方法 39
	インナークッションの使用方法 44
乗せる・降ろす	お子さまをチャイルドシートに乗せる 45
	お子さまをチャイルドシートから降ろす 51
お手入れ	カバークッション類の取り外し 53
	各部のお手入れ 58
	カバークッション類の取り付け 60
	補修部品 65
	保証書 66

使用条件と基本的な使用方法

チャイルドシートはお子さまの体重や体格により、使用方法が異なります。
ご使用になるお子さまに合った正しい取り扱いを行ってください。

※年齢(月齢)・身長は参考目安です。

新生児

7kg

4か月ごろ
身長:60cm

9kg

9か月ごろ
身長:70cm

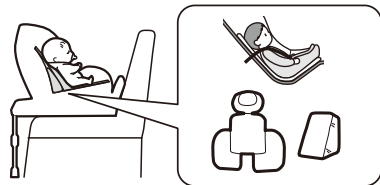
13kg

1歳半ごろ
身長:80cm

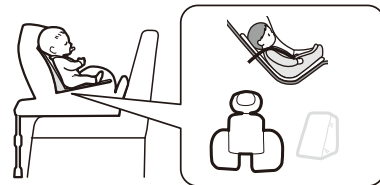
18kg

4歳ごろ
身長:100cm

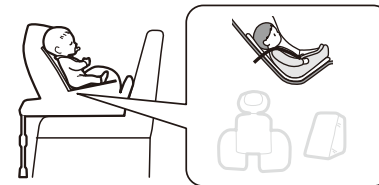
進行方向に対し、後向きに使用します。



- 肩ハーネスは肩と同じか、下の高さで使用します。
- インナークッションとインナーパッドを併用します。



- 体格に応じ腰回りが窮屈になった場合は、インナーパッドを取り外してください。

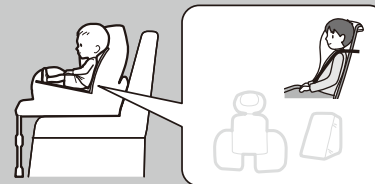


- インナークッションとインナーパッドは使用しません。

進行方向に対し、前向きに使用します。

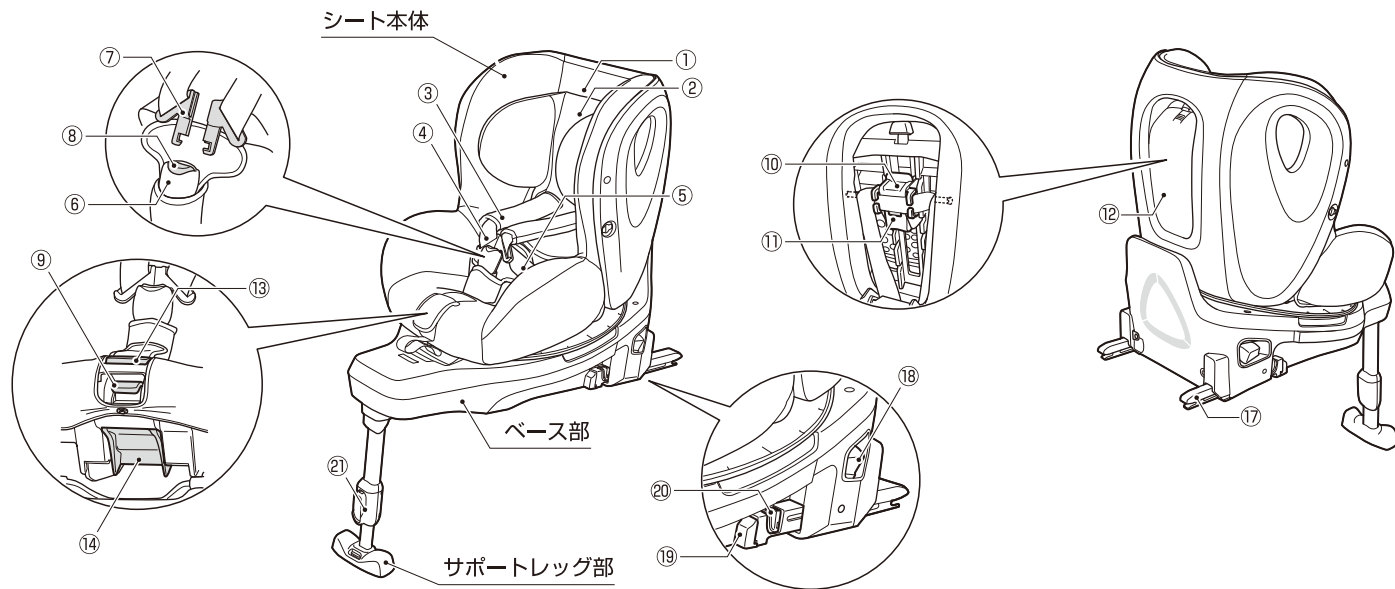


- 肩ハーネスは肩と同じか、上の高さで使用します。
- インナークッションとインナーパッドは使用しません。



お子さまの体重が9kgを超えるまでは前向きで使用しないでください。

各部の名称と付属品



<シート本体>

- ①シートクッション
- ②ヘッドクッション
- ③肩ハーネスカバー
- ④肩ハーネス
- ⑤腰ハーネス
- ⑥バックル

⑦タンク

- ⑧バックル解除ボタン
- ⑨ハーネスアジャストレバー
- ⑩肩ハーネスアジャスター
- ⑪肩ハーネスアジャストボタン
- ⑫バックカバー
- ⑬回転レバー

⑭リクライニングレバー

- ⑮インナークッション
(工場出荷時はチャイルドシートに取り付けています。)
- ⑯インナーパッド
(工場出荷時はチャイルドシートに取り付けています。)

<シート本体>

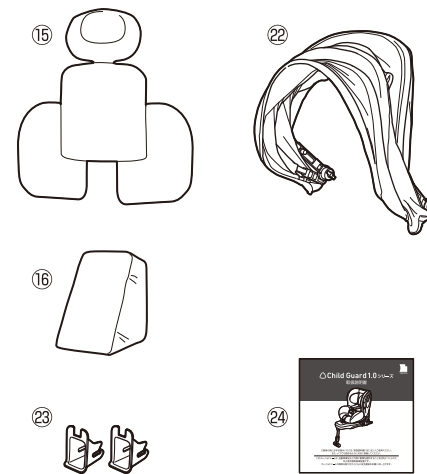
- ⑰コネクター
- ⑱コネクターアジャストボタン
- ⑲コネクター解除ボタン
- ⑳コネクター解除レバー

<サポートレッグ部>

- ㉑サポートレッグアジャストボタン

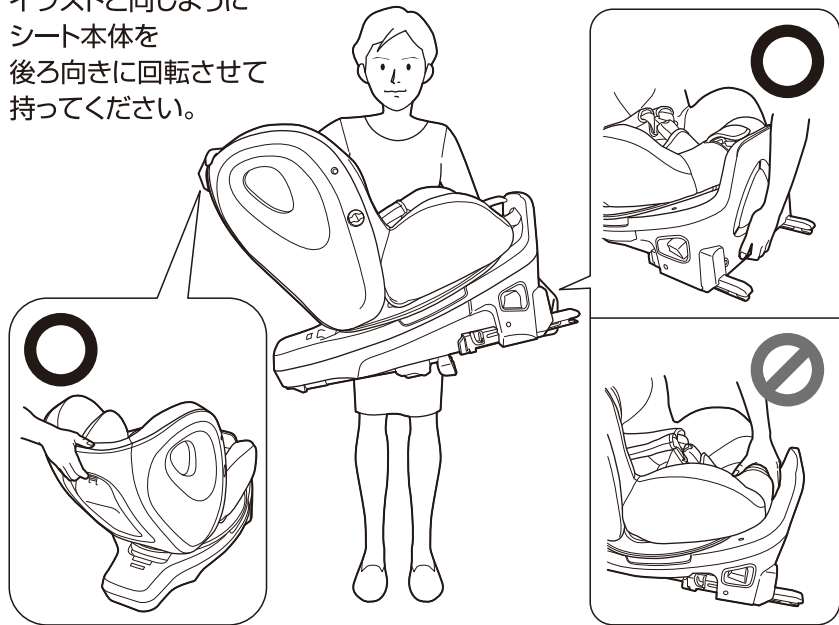
<付属品>

- ㉒サンシェード
- ㉓ガイドカップ
- ㉔取扱説明書



運搬時、使用時の正しい持ち方

イラストと同じように
シート本体を
後ろ向きに回転させて
持ってください。

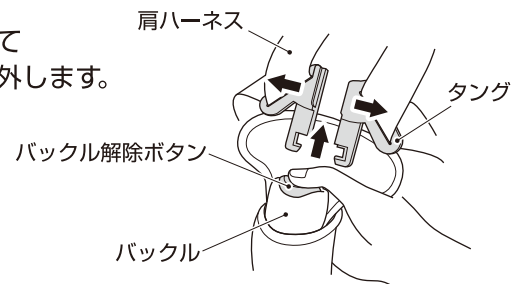


梱包用のビニール袋はお子さまの手の届かないところに置か、破棄してください。
お子さまがかぶると事故の原因になる恐れがあります。

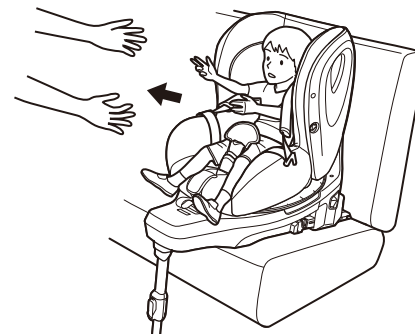
緊急時には

事故などの緊急時は、あわてず
次の手順で速やかにお子さまを救出してください。

- ① バックルボタンを押して
バックルからタングを外します。



- ② お子さまを静かに
チャイルドシートから
降ろします。



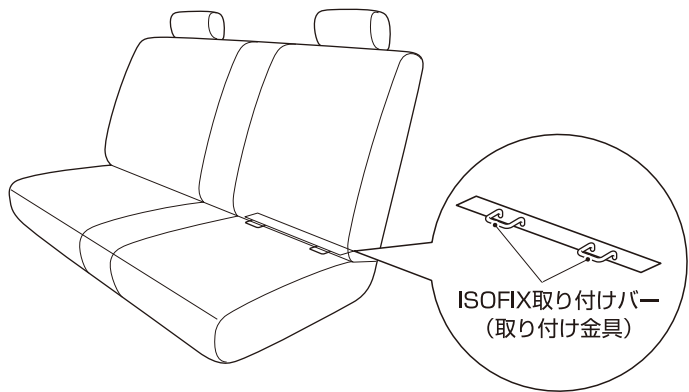
バックルボタンを押してもタングが外れない場合は、
ハーネスを切断するなどして、お子さまを救出してください。

ご使用上の注意

●取り付けできる座席

ISOFIX 取り付けバー(取り付け金具)が装備されている座席

チャイルドシートを取り付ける為に、車の座席の背もたれと座部との間に装備された取り付け金具です。詳しくは車の取扱説明書をご確認ください。



警告

このチャイルドシートは、シートベルトを使った取り付けはできません。ISOFIX取り付けバー以外で固定した場合、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。



アドバイス

通常はクッションに隠れ、見えない場合があります。また、車により名称や位置が異なる場合があります。

●適合車種

本製品のISOFIXサイズクラスは下記になります。車の取扱説明書にて対応状況を確認ください。

体重	グループ	カテゴリー	サイズ等級	固定具
13kg未満	0+	セミユニバーサル(準汎用)型	C	ISO/R3
9~18kg	I	セミユニバーサル(準汎用)型	B	ISO/F2
			B1	ISO/F2X
			A	ISO/F3

弊社ホームページ、又は店頭の手帳「車種別取り付け適合表」で適合車種を確認できます。

<http://www.takata.com/childseat/>

ご使用上の注意

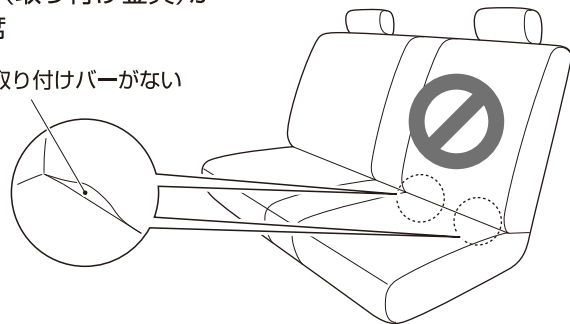
●取り付けのできない座席



車の座席が①～⑤のタイプに該当する場合は、チャイルドシートを取り付ける事ができません。取り付けした場合、事故時にお子さまや他の乗員が死亡または重大な傷害を負うおそれがあります。

- ① ISOFIX 取り付けバー(取り付け金具)が
装備されていない座席

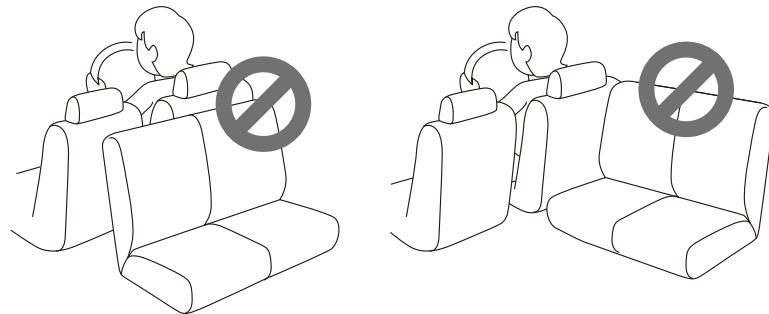
ISOFIX取り付けバーがない



- ② 前方にエアバッグが装備された座席

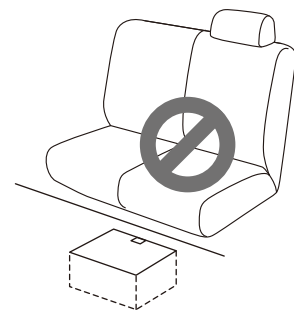


- ③ 横向き・後ろ向きになっている座席



- ④ チャイルドシートを取り付けると
運転操作の妨げや、視界の妨げになる座席

- ⑤ サポートレッグの接地箇所に
床下収納が装備された座席
(座席をスライドさせ避けられる場合は除く)



ご使用上の注意

● お子さまの乗せ降ろしについて



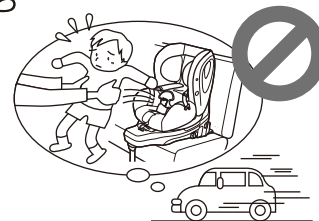
- ① 使用条件に適合しないお子さまには使用しないでください。
事故のときに重大な傷害を負う可能性があります。



- ② お子さまだけ車に残した状態で
お車から離れないでください。
不慮の事故(熱射病やいたずらによる事故等)に
つながるおそれがあります。



- ③ 走行中は、お子さまをチャイルドシートから
乗せ降ろしさせないでください。



- ④ ハーネスは、緩みやねじれのないように
お子さまの身体にあわせて調整してください。
ねじれていると事故のときに
重大な傷害を負う可能性があります。



- ⑤ 腰ハーネスで骨盤がしっかりと拘束されるように、
必ず腰ハーネスを低く下げて着用させてください。
腹部に腰ハーネスがかかっていると、
事故等のときに腹部が圧迫され
重大な傷害を負う可能性があります。



ご使用上の注意

●チャイルドシートの取り扱いについて



- ① チャイルドシートを安全に使用していただくため、柔軟材料(専用カバー類・ハーネス類・発泡材料等)を取り外したり専用品以外に取り替えて使用しないでください。



- ② チャイルドシートのハーネスを刃物等の鋭利なもので傷つけないでください。傷ついているとチャイルドシートが正常な働きをしない場合があります。



- ③ 取扱説明書に記載された以上の分解や構成部品を取り外した状態での使用および指定以外の物との交換は絶対にしないでください。



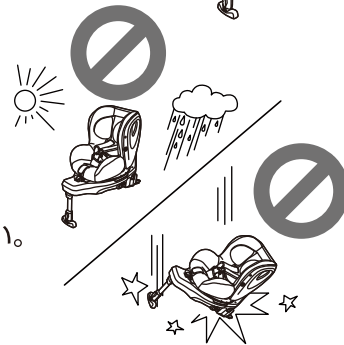
- ④ 事故等で車両に強い衝撃を受けた場合、チャイルドシートにも目に見えない破損があるおそれが強いので、絶対使用しないでください。



- ⑤ チャイルドシートのロック部分(バックル、コネクター等)には、精密な部品が組み込まれていますので、水やジュース等をかけないでください。部品の故障原因になります。



- ⑥ チャイルドシートを保管するときには、強い衝撃を与えたり、長期間屋外など日光が当たる場所に放置しないでください。



ご使用上の注意

●その他こんなことにも注意して



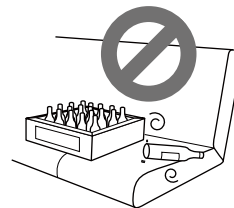
- ① チャイルドシートに日光が当たると熱くなることがあります。大人が金属部分や樹脂部分に触れて熱さの程度を確認し、お子さまがやけどをする恐れのないことを確認の上、使用してください。



- ② 可動式座席または車両のドアにチャイルドシートの剛性部分(樹脂部分等)が挟まれないようにしてチャイルドシートを取り付けてください。



- ③ 事故発生時や乗員に傷害を与えるような物を車内に放置しないでください。万一のとき、お子さまや乗員に当たるおそれがあり、危険です。



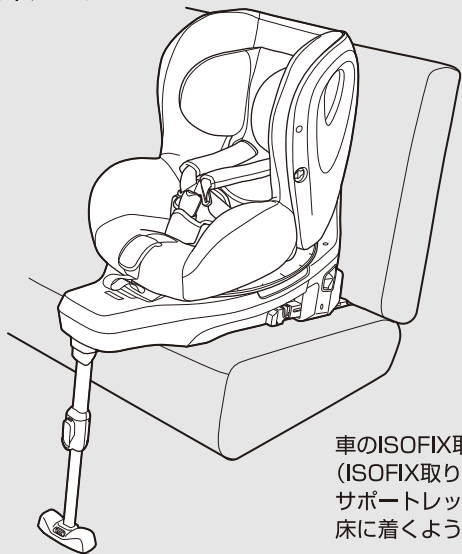
- ④ 長期間、車にチャイルドシートを取り付けることにより、座席に跡がつく場合があります。

- ⑤ 靴や衣服の面ファスナーが本品カバーに引っかからないように気をつけてください。お子さまの靴や服の面ファスナー(マジックテープ)など突起物がカバーに引っかかると、カバーを傷める可能性があります。



車にチャイルドシートを取り付ける

●取り付け完成イメージ



車のISOFIX取り付けバー
(ISOFIX取り付け具)に固定し、
サポートレッグが
床に着くように調整します。



注意

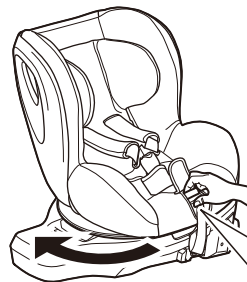
○取り付けの際には可動部分に指や物を挟まないようにしてください。
○運転席の後方にチャイルドシートを取り付け、運転動作に支障をきたす場合は、他の席でチャイルドシートをご使用ください。



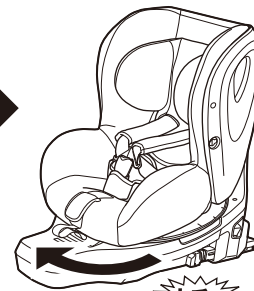
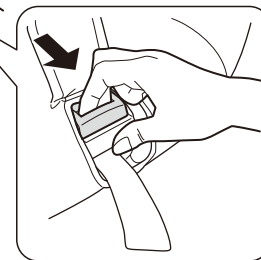
アドバイス

長期間、車にチャイルドシートを取り付けることにより、
座席に跡がつく場合があります。

- ① 車に取り付ける前にシートを回転させて前向きにする。
(出荷時はシートが後ろ向きになっています)



シート先端部のレバーを
引いた状態で
シートを回転させ、



レバーを離れた状態で
回転させて前向きにすると
ロックします。



警告

正しくロックしているかシートをゆすり確認してください。
ロックしていないと、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

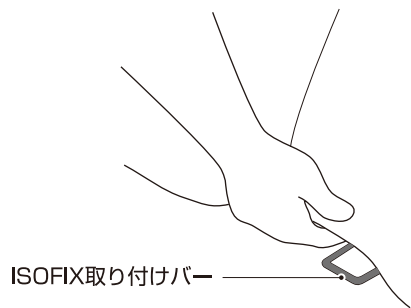


アドバイス

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

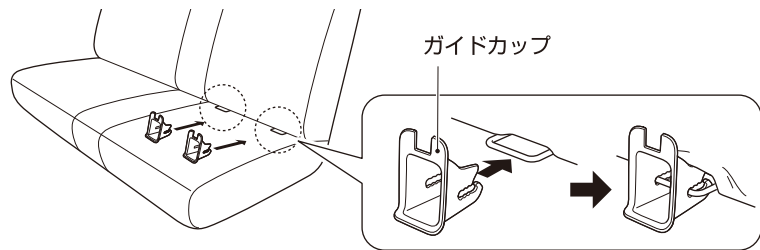
車にチャイルドシートを取り付ける

- ② 車の座席背もたれと座面の間を広げ、ISOFIX取り付けバー(取り付け具)の位置を確認する。



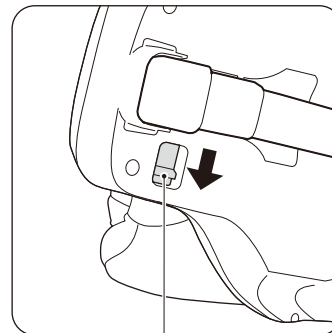
アドバイス

ISOFIX取り付けバー(取り付け具)は隠れて見えにくいので、付属のガイドカップを使うことで取り付け易くなります。但し座席によってはガイドカップが必要ない場合や、取り付けできない場合があります。この場合はガイドカップを使用せずチャイルドシートの取り付けを行ってください。

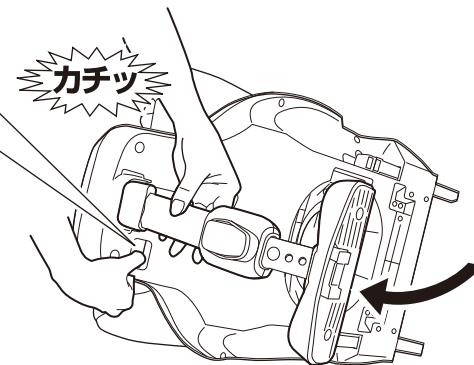


21

- ③ 底面の解除レバーを矢印の方向に動かし、サポートレッグを引き出す。引き出したらレバーを離し、ロックする。



解除レバー



警告

正しくロックしていないと、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。



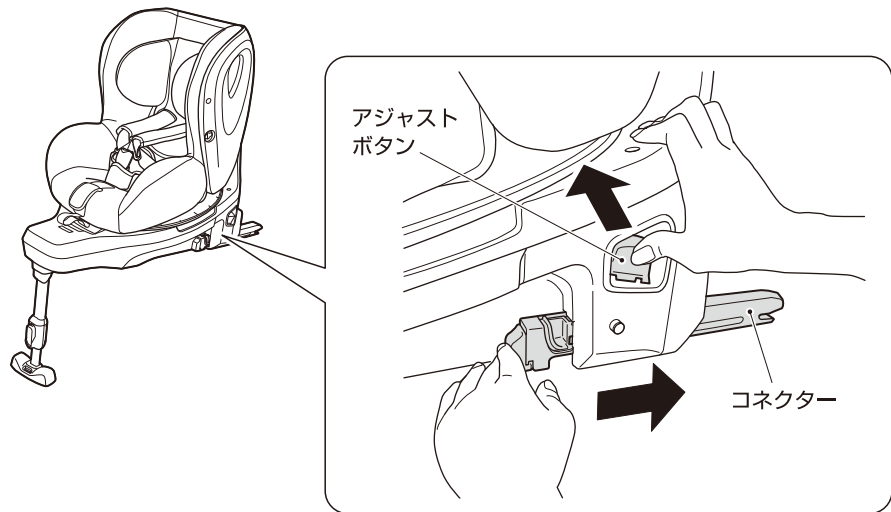
注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。
また操作を行う際には、安定した場所に置いて行ってください。

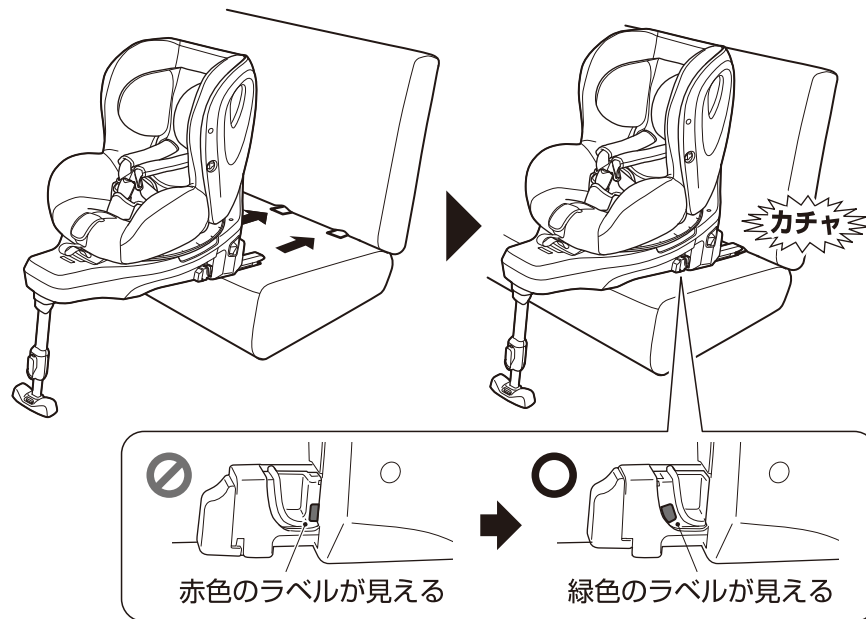
22

車にチャイルドシートを取り付ける

- ④ アジャストボタンを矢印の方向に押した状態で、コネクターを全て押し出す(左右両方とも)。



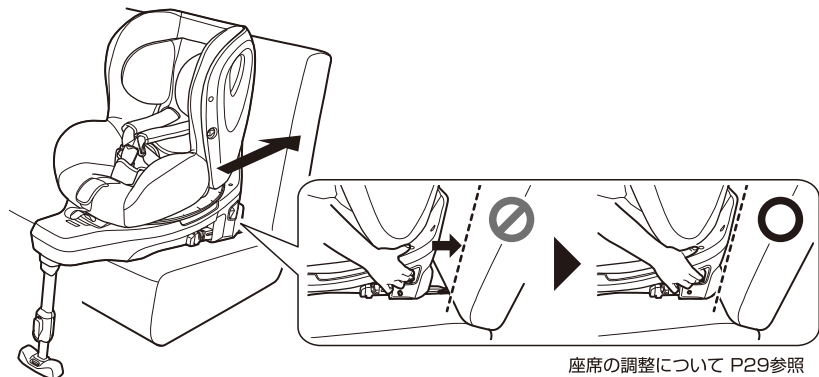
- ⑤ コネクター部をISOFIX取り付けバー(取り付け具)に差し込む。カチャとロック音がし、両方のインジケーターの赤色のラベルが消え、緑色のラベルが見えるまで差し込みます。



コネクターは必ず正しいロック状態にしてください。
正しくロックしていないと事故時に重大な傷を負う可能性があります。

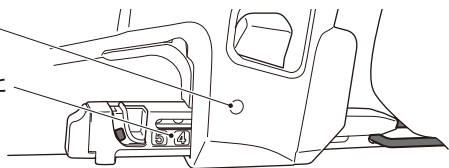
車にチャイルドシートを取り付ける

- ⑥ 両側のアジャストボタンを押しながら、ベースを車の座席の背もたれにしっかりと押さえ付ける。



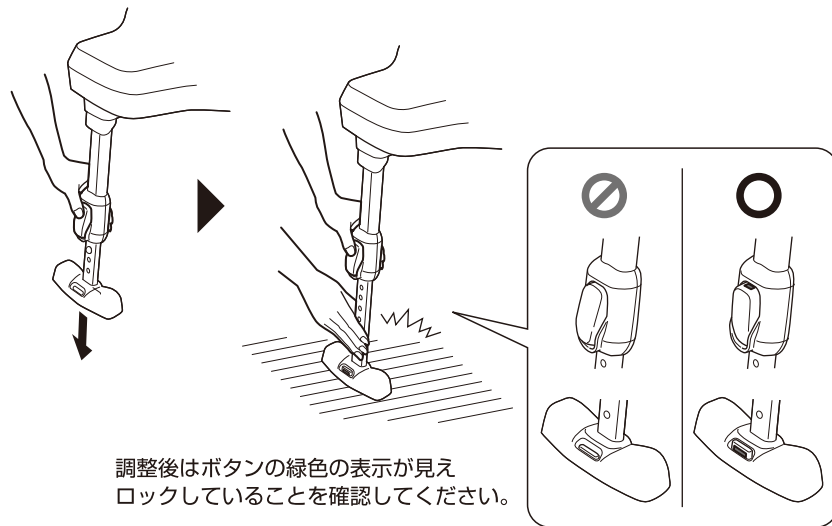
座席の調整について P29参照

アジャストボタンを離し、左右のインジケータがロック位置（突起した赤色の表示が見えない状態）まで戻っていること、左右の数字が同じ番号になっていることを確認する。



インジケータがロック位置に戻っていない場合（突起した赤色の表示が見えている状態）は、ベース先端部を持ち上げながらチャイルドシートを前後にゆらしてロックさせてください。

- ⑦ アジャストボタンを押しながら、サポートレッグの先端が床に接触し緑色の表示が見えるよう長さ調整する。



調整後はボタンの緑色の表示が見えロックしていることを確認してください。

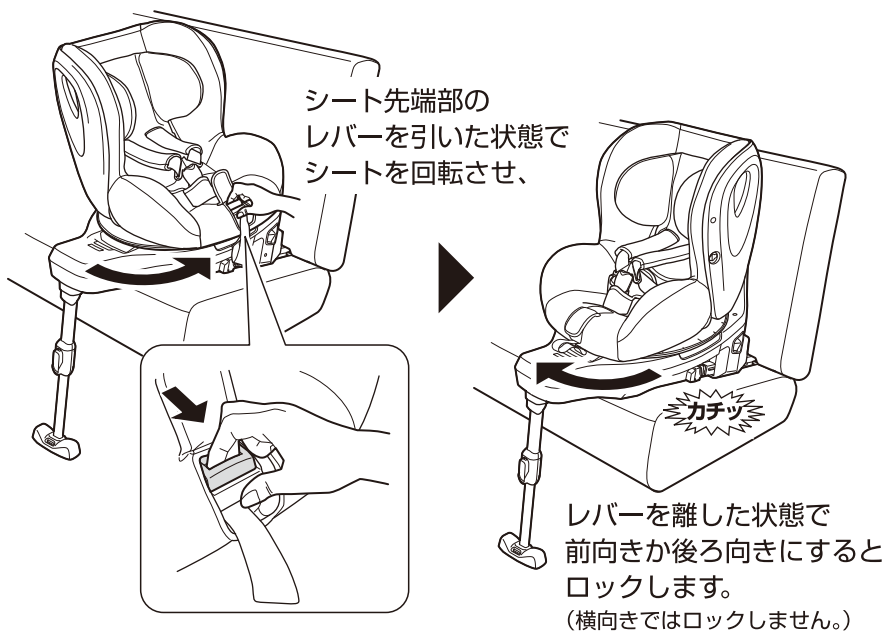


サポートレッグの先端が正しく床に接触していない、またアジャストボタンが正しくロックされていないと、事故時に重大な障害を負う可能性があります。



車によっては、正しくサポートレッグを接地すると座席とチャイルドシートの底面に少し隙間ができる場合があります。

回転操作方法



警告

正しくロックしているかシートをゆすり確認してください。また、お子さまが乗っていない場合でも前向きか後ろ向き必ずロックしてください。事故時に重大な傷を負う可能性があります。



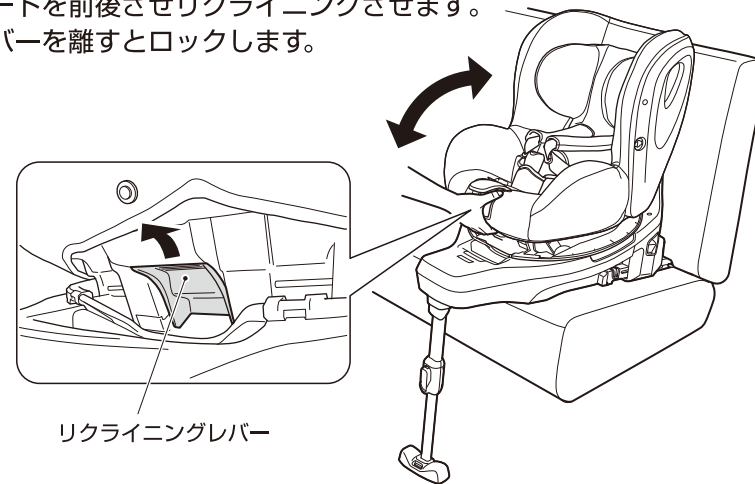
注意

・シートを横向きのままドアを閉めないでください。故障の原因となります。
・可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

リクライニング操作方法

シートを起きた状態と倒れた状態の2段階に調節することができます。ただし後ろ向き使用時は、必ず倒した状態で使用してください。

シート下にあるリクライニングレバーを握り、シートを前後させリクライニングさせます。レバーを離すとロックします。



警告

調整後は正しくロックしているかシートをゆすり確認してください。ロックしていないと、事故時に重大な傷を負う可能性があります。

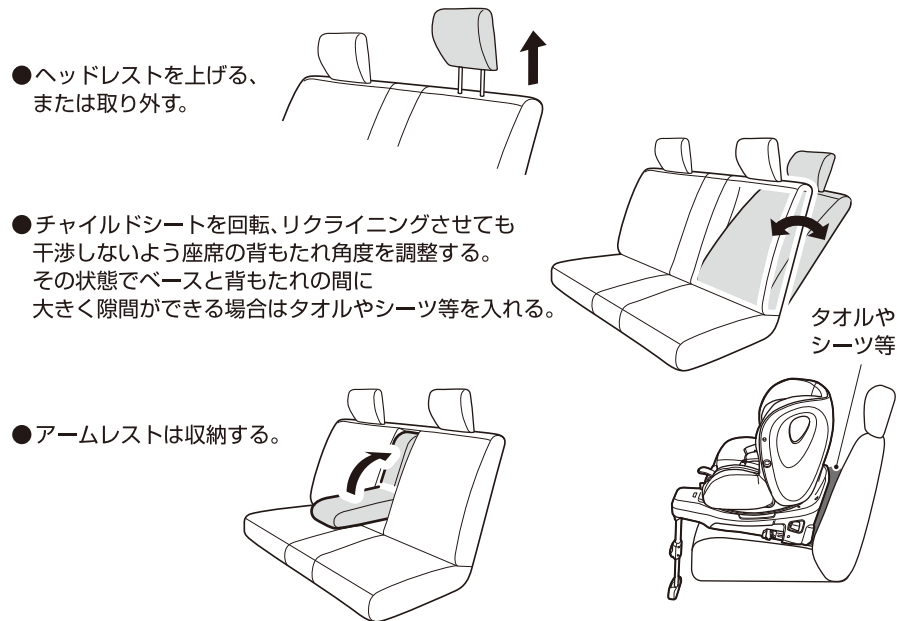


注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

車の座席の調整について

チャイルドシートのベースと座席の背もたれに大きく隙間ができる場合、回転操作やリクライニング操作の際、座席に干渉して動かせない場合は、



車によっては座席のヘッドレスト、背もたれ角度が調整できない場合もあります。操作方法については、車の取扱説明書を参照ください。

取り付けチェック

全てのインジケーターがグリーンになっていることを確認してください。正しく取り付けしていない場合は、最初からやり直してください。

シート

車の座席に干渉せず、回転操作が行えることを確認する。(→P27)

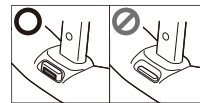
車の座席に干渉せず、リクライニング操作が行えることを確認する。(→P28)

サポートレッグ

ボタンの緑色のラベルが見えている事を確認する。(→P26)

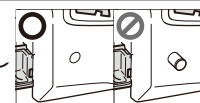


先端の緑色のラベルが見えている事を確認する。(→P26)

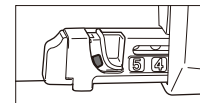


コネクター

赤色のラベルが見えていない事を確認する。(→P25)



左右の番号が同じ事を確認する。(→P25)



レバーの緑色のラベルが見えている事を確認する。(→P24)

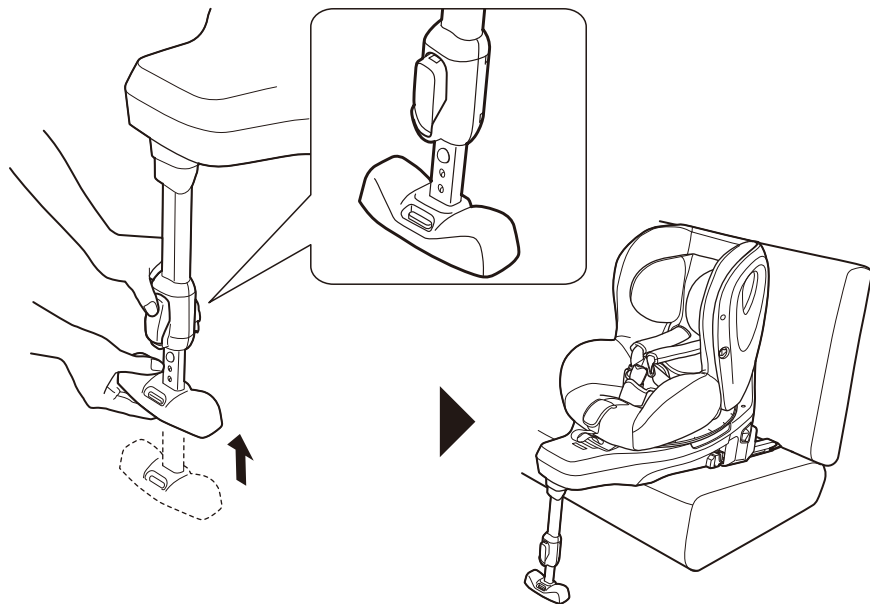


緑

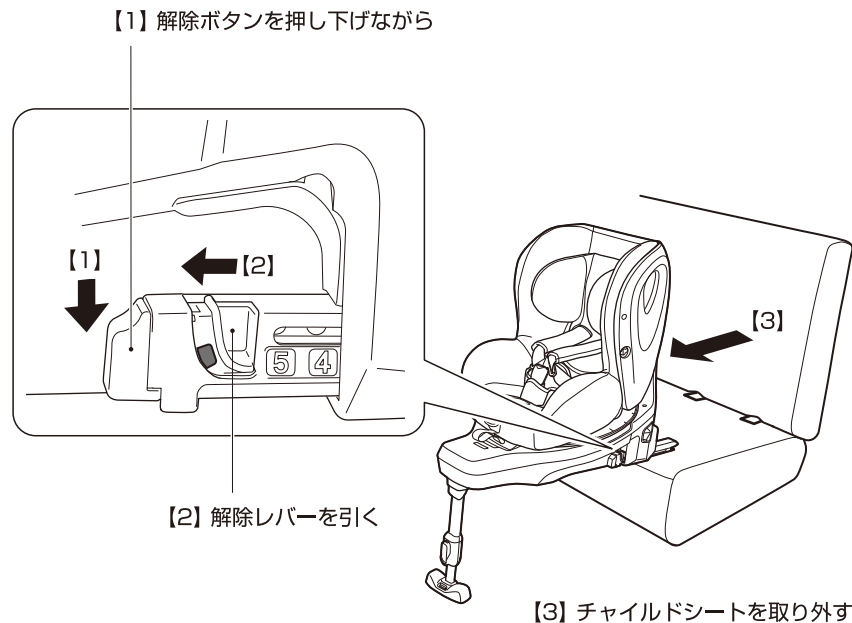
赤

車からチャイルドシートを取り外す

- ① サポートレッグのアジャストボタンを押しながら、伸ばしたサポートレッグを縮める。



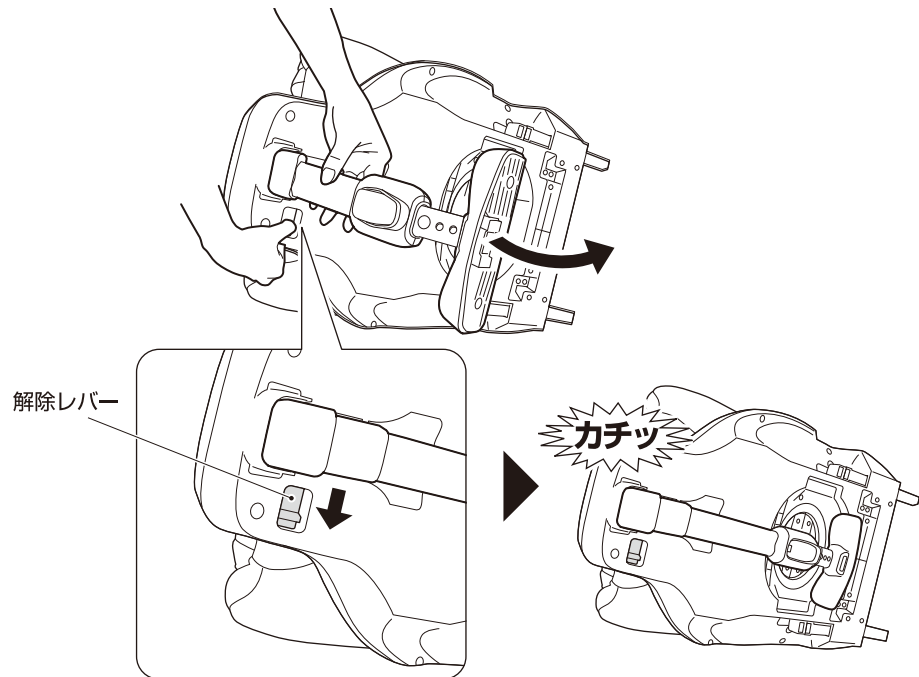
- ② 両側コネクターの解除ボタンを押しながら解除レバーを引き、ロックを解除し、車からチャイルドシートを取り外す。



可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

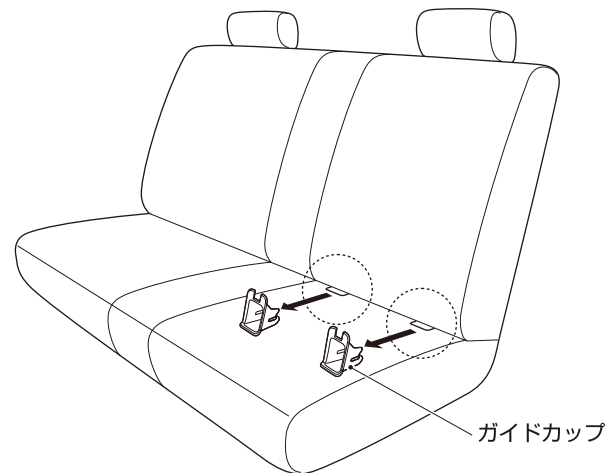
車からチャイルドシートを取り外す

- ③ 底面の解除レバーを矢印の方向に動かし、サポートレッグを折り畳む。
折り畳んだらレバーを離し、ロックさせる。



可動部分に指や物を挟まないようにしてください。
持ち運びの際には、必ずサポートレッグをロックしてください。

- ④ ガイドカップを使用している場合は、取り外す。



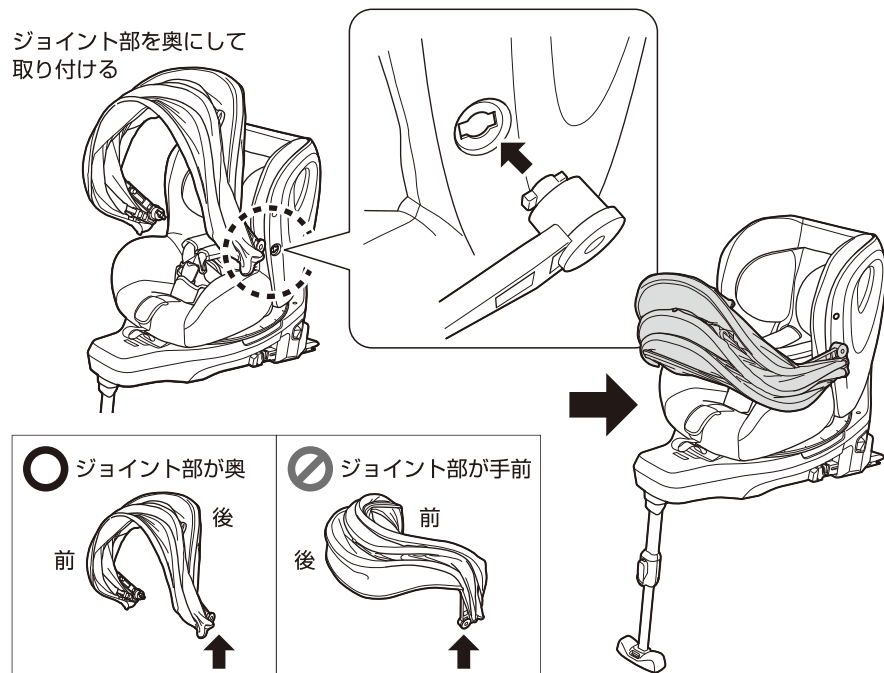
サンシェードの取り付け、取り外し

グレード・モデルによって、装備されていない場合や形状の異なる部品があります。

●サンシェードの取り付け

- ① 左右のサンシェードのジョイント部にある突起をシート側面の穴の形状に合わせ奥まで差し込む。

ジョイント部を奥にして
取り付ける



35

- ② サンシェードを90度回転させ、もう一つの左右の突起をシート側面の穴に差し込む。



可動部分に指や物を挟まないようにしてください。



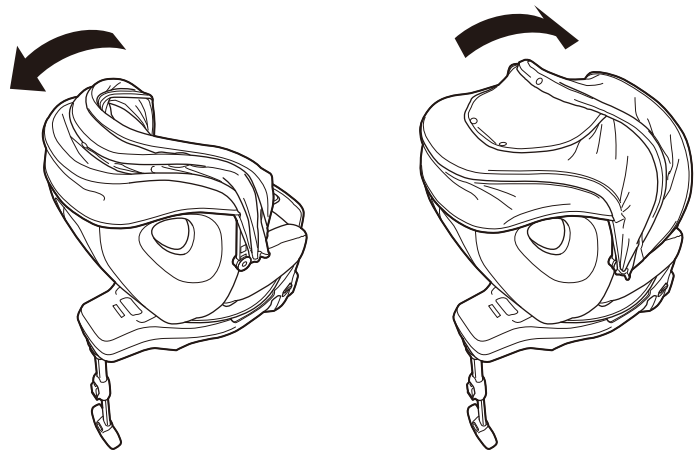
取り外しは、取り付けと逆の手順になります。

36

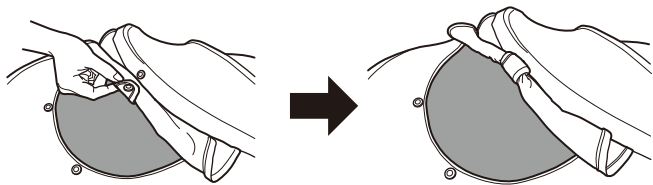
サンシェードの使い方

後ろ向き使用時

- サンシェードを広げる。使用状況に応じご自由に調整ください。



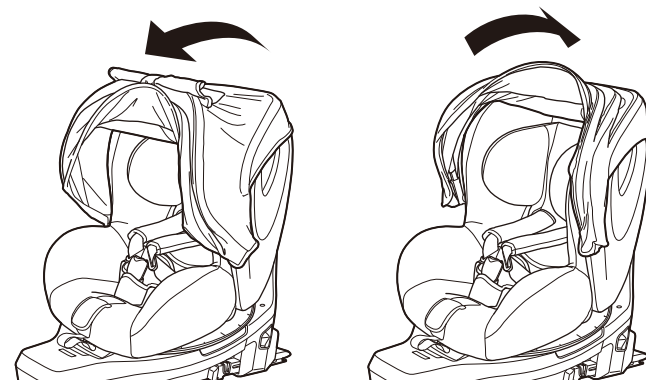
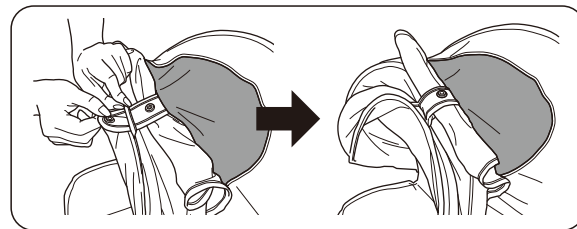
- サンシェード上部にある窓を開ける際は、穴にストラップを通し、ボタンを留める。



37

前向き使用時

- サンシェードを前方を留め、使用してください。



アドバイス

お子さまの成長により、頭が干渉するようになった場合は取り外してください。

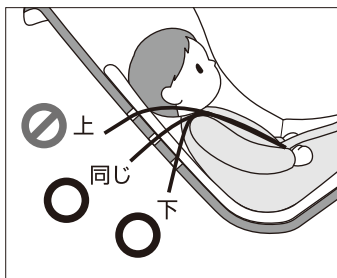
38

肩ベルトの高さ調節方法

お子さまの体格に合わせてご使用ください。
位置が合っていない場合は、正しい位置に調整してください。

後向き

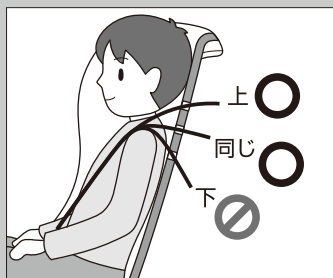
体重13kg未満



肩ハーネスがお子さまの肩と同じか、
低い位置で使用してください。

前向き

体重9～18kg



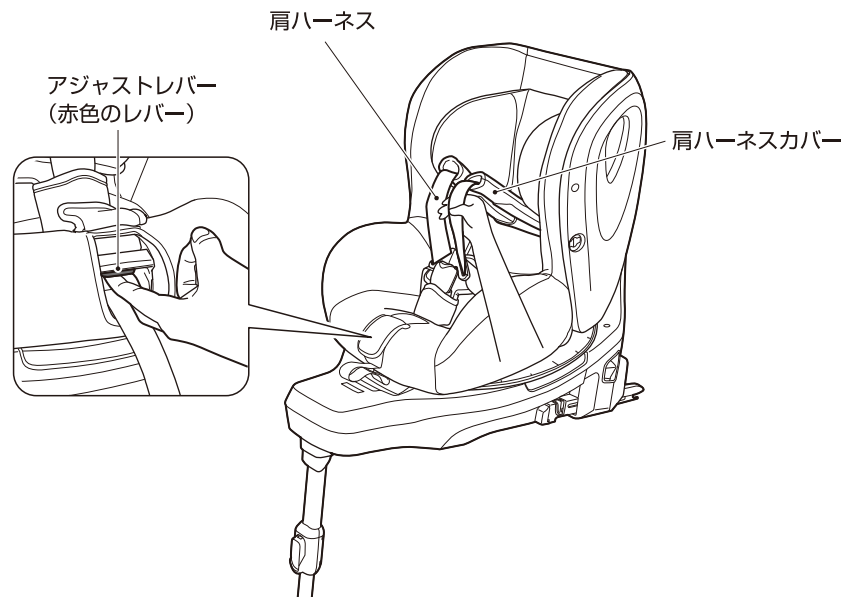
肩ハーネスがお子さまの肩と同じか、
高い位置で使用してください。



警告

ハーネスの高さは必ず正しい位置でご使用ください。
不適切な位置で使用すると、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

① アジャストレバーを持ち上げながら、肩ハーネスを引き出す。



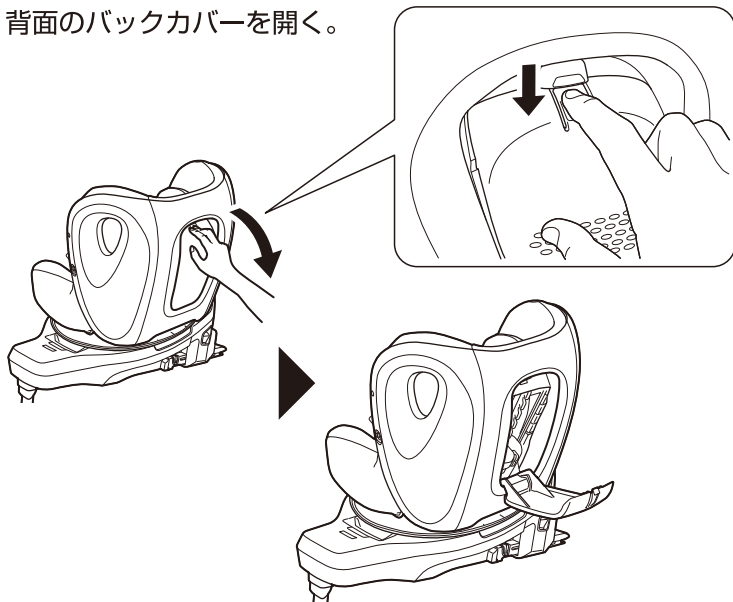
アドバイス

ハーネスを引き出す際にはカバーではなく、ハーネスを持って引き出して
ください。カバーを引っ張っても、引き出せません。

肩ベルトの高さ調節方法

② シート背面が見えるように回転させる。(回転操作はP27参照)

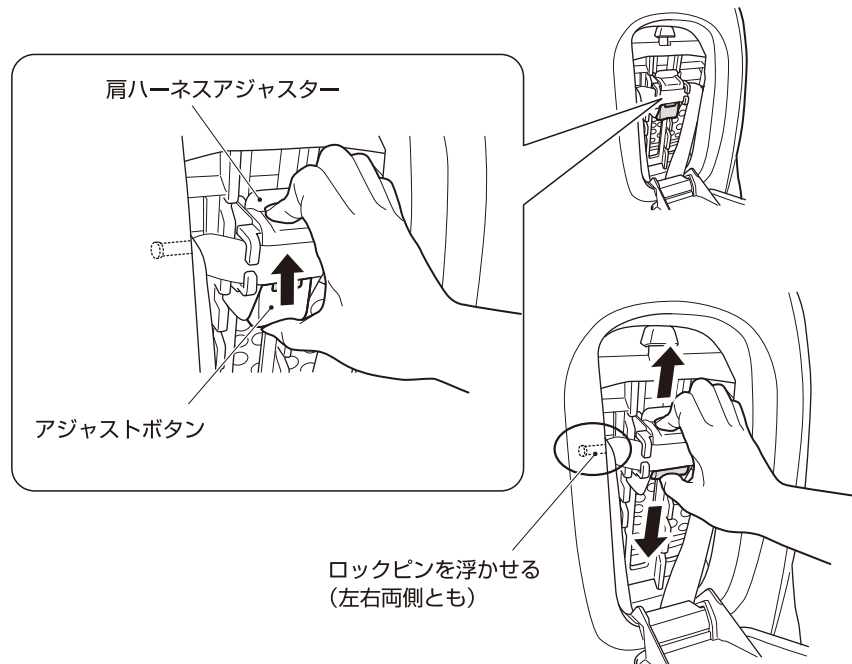
③ 背面のバックカバーを開く。



可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

41

④ 肩ハーネスアジャスターのアジャストボタンを押し、肩ハーネスの高さを調整する。

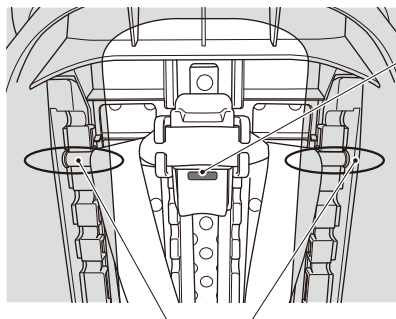


可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

42

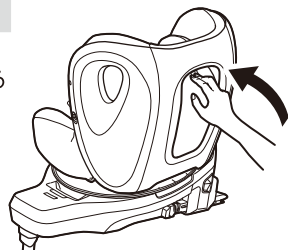
肩ベルトの高さ調節方法

- ⑤ 適切な高さでアジャストボタンを離し、ロックする。
ボタンの緑色の表示が見えロックしていることを確認してください。



緑色のラベルが見えることを確認する。

肩ハーネスロックピンをくぼみに入れる
(左右両側とも)。



- ⑥ 背面のバックカバーを閉める。



正しくロックしていないと事故時に重大な傷を負う可能性があります。

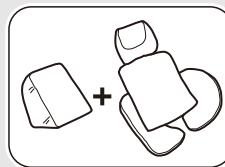


バックカバーを閉めるとき、ハーネスやハンガーが隙間に噛み込まないように注意してください。故障の原因となります。

インナークッションの使用方法

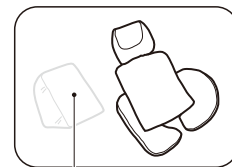
インナークッションはお子さまの体重、体格に応じて調整してください。

新生児～7kg(目安)



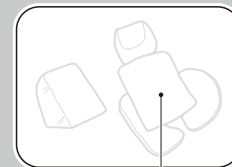
首がすわるころまでは、
インナークッション、
インナーパッド両方使用する。

7kg(目安)～9kg未満



インナーパッドは、
首がすわり、胸周りが
窮屈になるのを目安に外す。

9kg～



インナークッション
インナーパッドは、
使用しません。

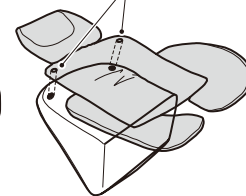
インナークッションをシートに置き、下記のようにバックルとハーネスを通してください。またインナーパッドはインナークッション裏側とボタンで留めてください。

左右の肩ハーネスは
ここを通す

左右の腰ハーネスは
ここを通す

バックルは
ここを通す

インナーパッドは
ボタン2箇所を留める



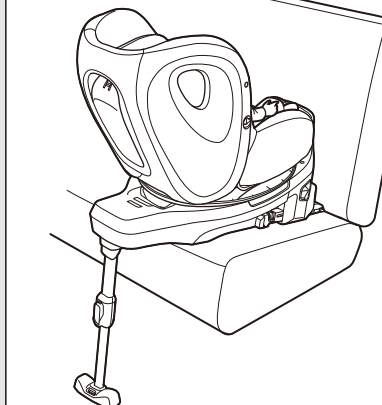
グレード・モデルによって、
装備されていない部品や形状の異なる部品があります。

お子さまをチャイルドシートに乗せる

お子さまの体重によって、チャイルドシートを固定する向きが異なります。

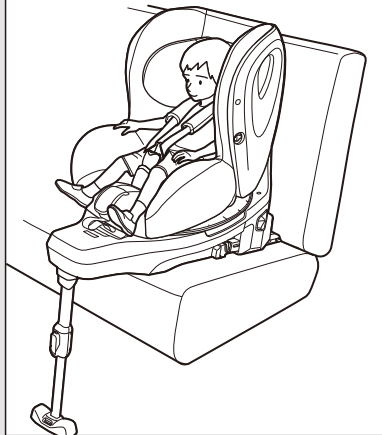
後向き

新生児～13kg未満



前向き

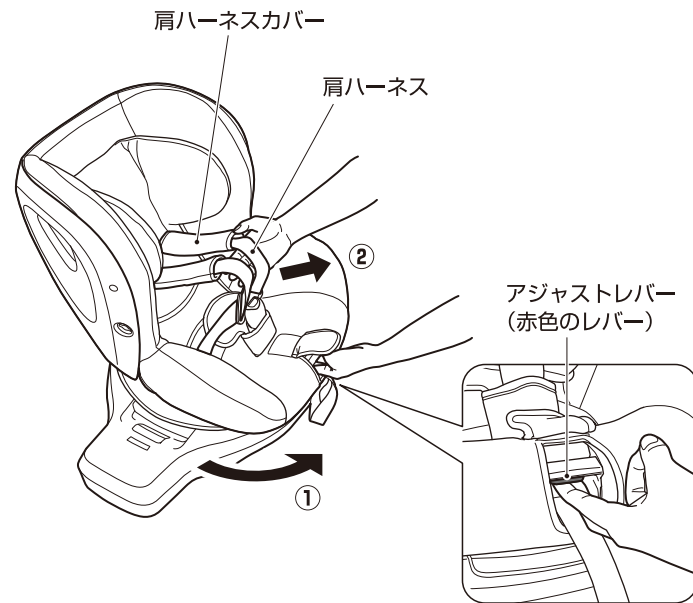
9～18kg



警告

お子さまを極端に厚着の状態に乗せないでください。
事故時に十分に拘束できず、重大な傷害を負う可能性があります。

- ① シートを乗せやすい向きに回転させる。(シートの回転方法はP27参照)
- ② アジャストレバーを持ち上げながら、肩ハーネスを引き出す。

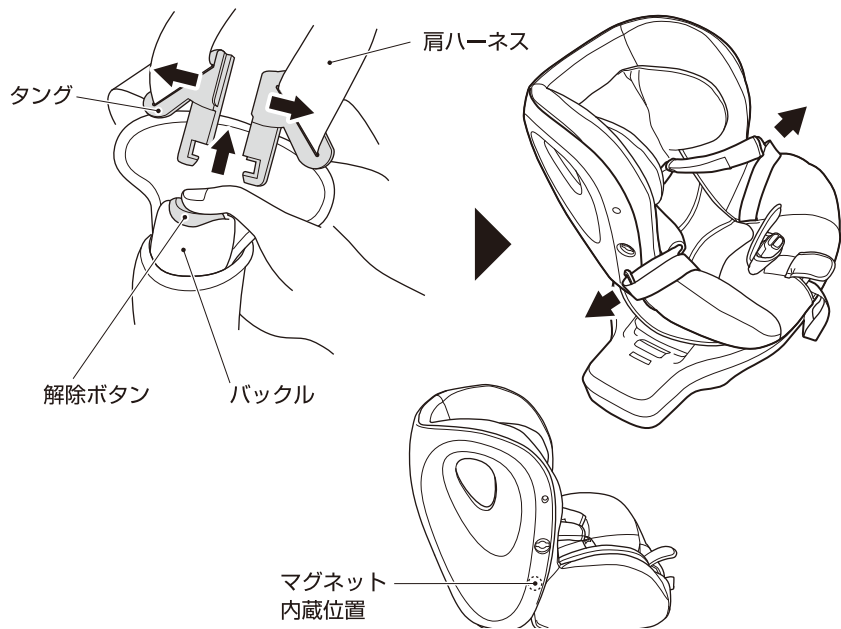


アドバイス

ハーネスを引き出す際にはカバーではなく、ハーネスを持って引き出して
ください。カバーを引っ張っても、引き出せません。

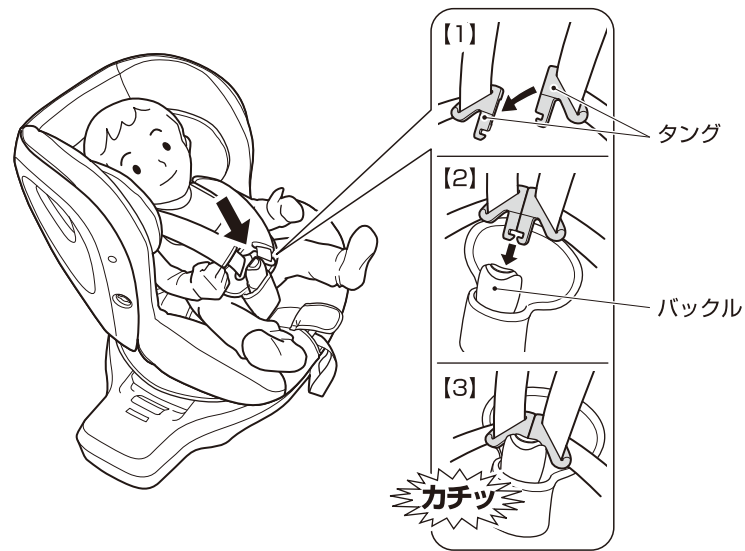
お子さまをチャイルドシートに乗せる

- ③ 解除ボタンを押してバックルからタングを外し、肩ハーネスを左右に広げる。



アドバイス 外したタングを側面のマグネットに取り付けておくと、お子さまの乗せ降ろしに便利です。但しタングの向きやハーネスの長さにより側面にタングが取り付けにくいことがあります。また、一部のモデル・グレードでは装備されていない場合があります。

- ④ お子さまをシートに深く座らせ、肩ハーネスをお子さまの肩にかけ、左右のタングを合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込む。



警告 タングがバックルに正しく結合されていないと、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を負う可能性があります。

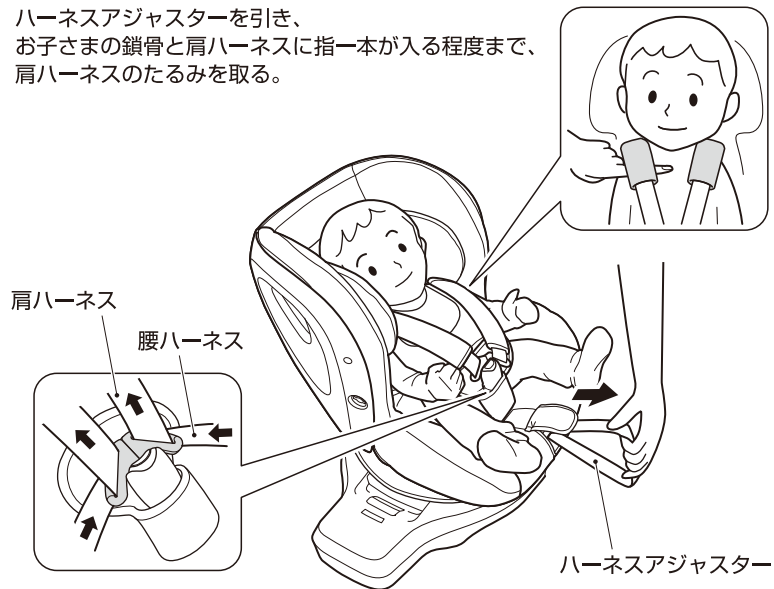
アドバイス タングを引っ張り、タングとバックルが正しく結合されていることを確認してください。

乗せる・降ろす

お子さまをチャイルドシートに乗せる

⑤ 肩ハーネスを引っ張り、腰ハーネスのたるみを取る。

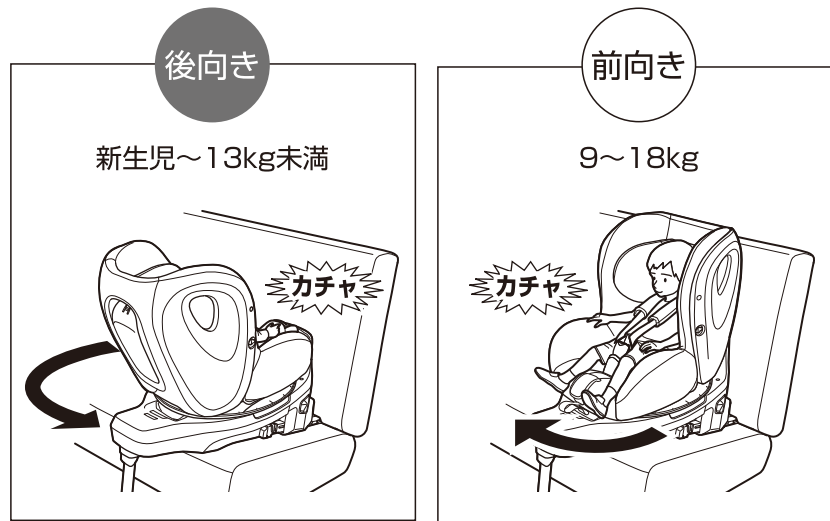
ハーネスアジャスターを引き、
お子さまの鎖骨と肩ハーネスに指一本が入る程度まで、
肩ハーネスのたるみを取る。



警告

ハーネスに緩みやねじれがないようにしてください。ハーネスとお子さまの間に余分なすき間があると、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を負う可能性があります。

⑥ 正しい向きにシートを回転させる。



警告

必ず正しい向きでご使用ください。横向きや誤った向きで使用した場合、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。
正しくロックしているか確認してください。ロックしていないと、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。

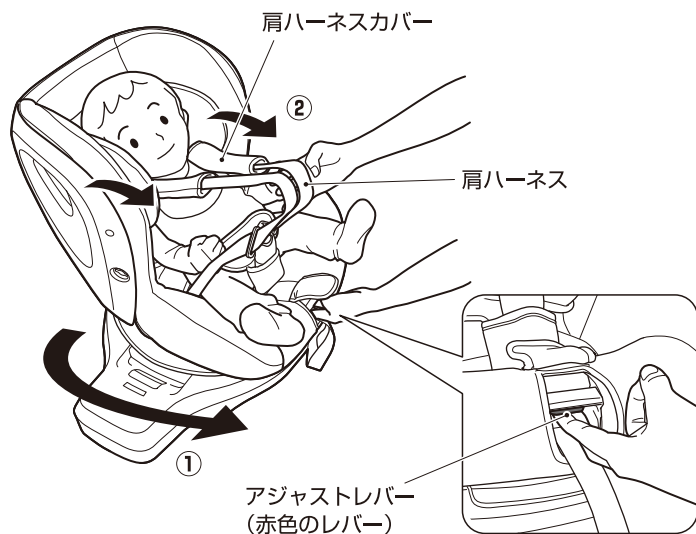


注意

横向きのまま車のドアを閉めないでください。
お子さまが怪我をする恐れがあります。

お子さまをチャイルドシートから降ろす

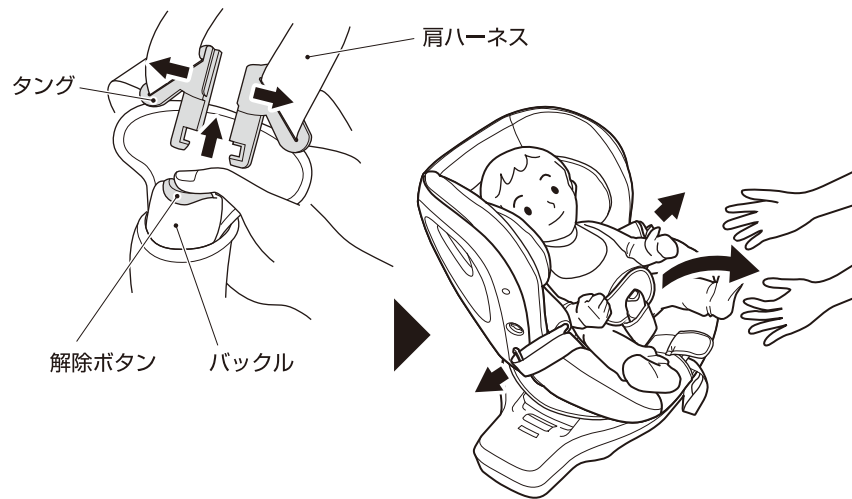
- ① シートを降ろしやすい向きに回転させる。(シートの回転方法はP27参照)
- ② アジャストレバーを持ち上げながら、肩ハーネスを引き出します。



アドバイス

ハーネスを引き出す際にはカバーではなく、ハーネスを持って引き出してください。カバーを引っ張っても、引き出せません。

- ③ 解除ボタンを押してバックルからタングを外し、肩ハーネスを左右に広げ、お子さまをシートから降ろします。



アドバイス

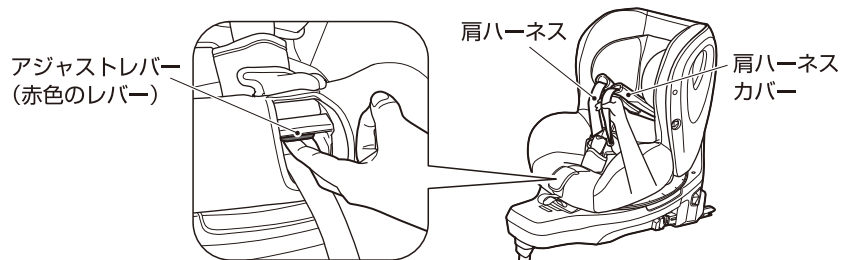
・外したタングを側面のマグネットに取り付けておくと、お子さまの乗せ降ろしに便利です。但しタングの向きやハーネスの長さにより側面にタングが取り付けにくいことがあります。また、一部のモデル・グレードでは装備されていない場合があります。
 ・緊急時にバックルボタンを押してもタングが外れない場合は、ハーネスを切断するなどしてお子さまを救出してください。

カバークッション類の取り外し



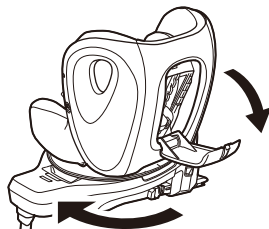
記載された以上の分解や部品の取り外しは行わないでください。
故障の原因となります。

- ① アジャストレバーを持ち上げながら、肩ハーネスを全て引き出す。



ハーネスを引き出す際にはカバーではなく、ハーネスを持って引き出して
ください。カバーを引っ張っても、引き出せません。

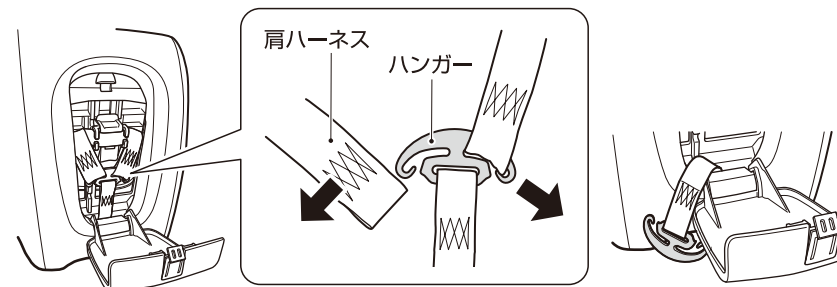
- ② チャイルドシート背面が
見えるよう回転させ (回転操作はP27参照)、
バックカバーを開く。



可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

53

- ③ ハーネスをハンガーから外す。

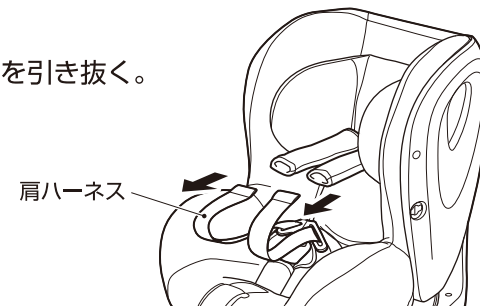


取り外し後、ハンガーが下に落ちないように側面に引っ掛けてください。



ハンガーを側面に引っ掛けたままバックカバーを閉めると、
隙間に噛み込み、故障の原因となります。

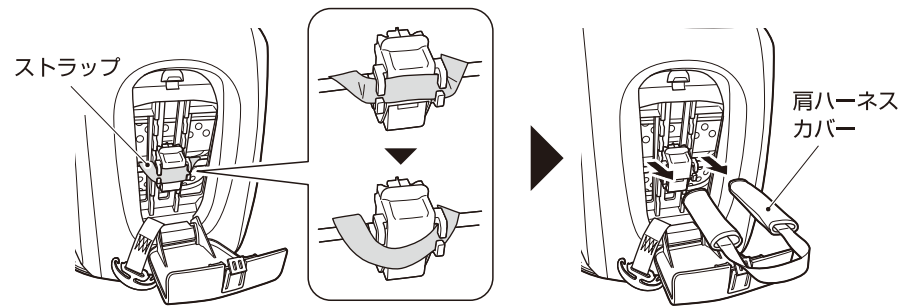
- ④ 正面からハーネスを引き抜く。



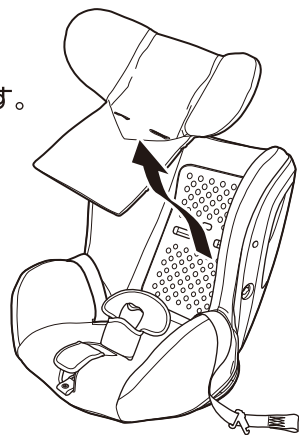
54

カバークッション類の取り外し

⑤ 背面にあるストラップをガイドから外し、肩ベルトカバーを引き抜く。

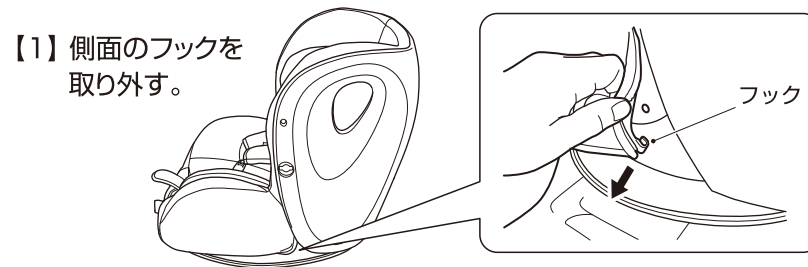


⑥ ヘッドクッションを取り外す。

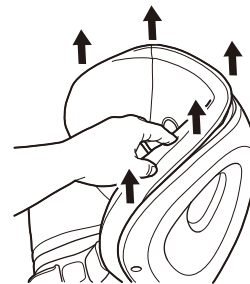


55

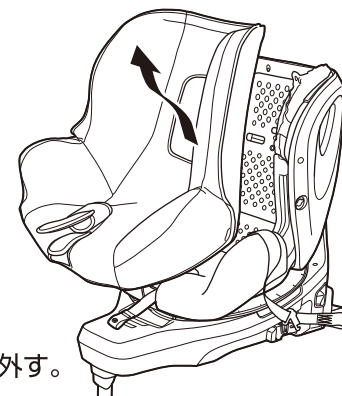
⑦ シートクッションの取り外し。



【2】 上部、側面の隙間からシートクッションを取り外す。



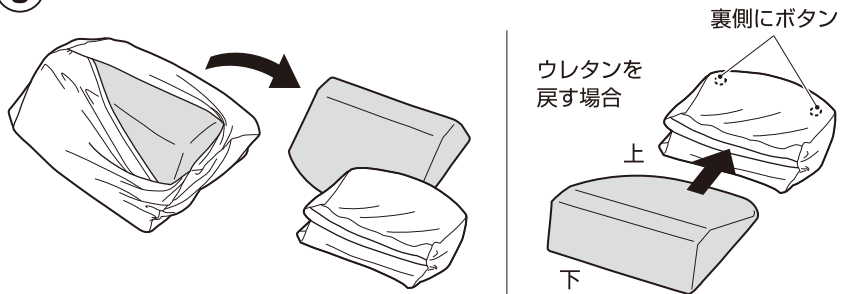
【3】 シートからシートクッションを取り外す。



56

カバークッション類の取り外し

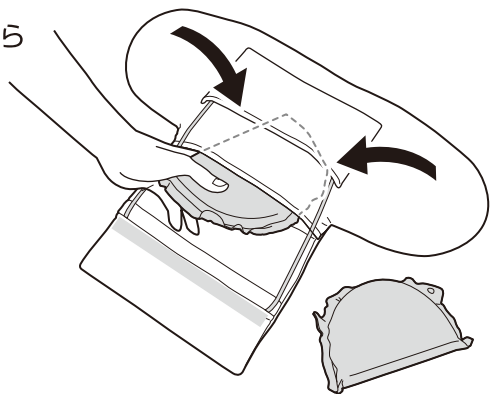
⑧ インナーパッドのウレタンを取り外す。



アドバイス

ウレタンを戻す際は、先端が丸まった部分がクッションのボタン側になるようにして挿入してください。

⑨ ヘッドクッション内側からエアパッドを取り出す。

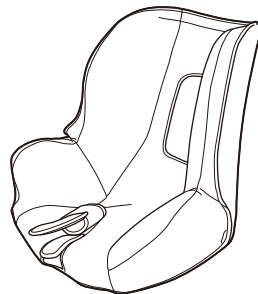


57

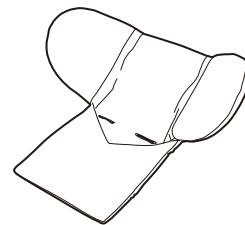
各部のお手入れ

洗える部品

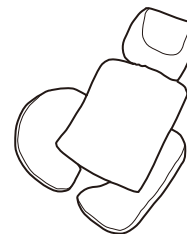
○シートクッション



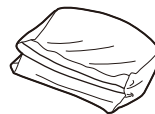
○ヘッドクッション



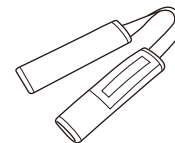
○インナークッション



○インナーパッドのカバー



○肩ハーネスカバー



中性洗剤を使用して、
手で押し洗いしてください。
洗った後は日陰で平干ししてください。



液温は40℃を限界とし
手洗いしてください。



漂白剤は
使用しないでください。



ドライクリーニングは
しないでください。



アイロン掛けは
しないでください。



日陰で
平干ししてください。



注意

洗濯後は、完全に乾燥させてからご使用ください。

58

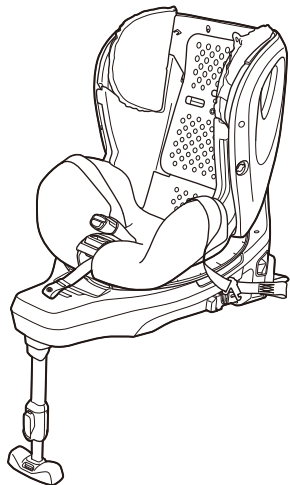
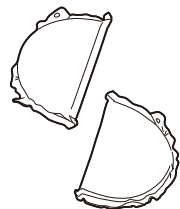
各部のお手入れ

洗えない部品

○チャイルドシート本体(発泡材、ウレタン含む)

○インナーパッドのウレタン

○エアパッド



○サンシェード



プラスチック部、ハーネス、サンシェードは固くしぼった布で水拭きしてください。エアパッド、発泡材、ウレタン、コーションラベル部は乾いた布で乾拭きしてください。



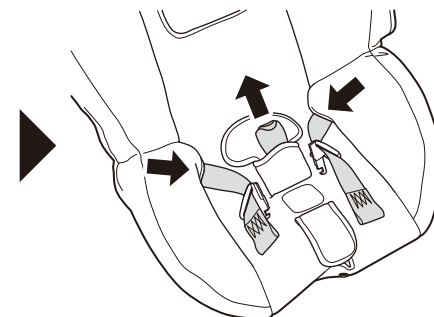
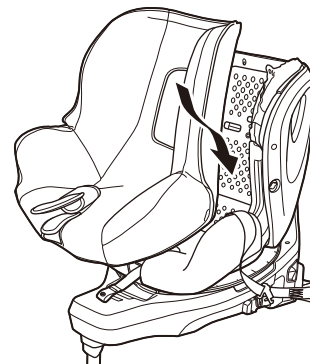
シンナー等の有機溶剤は使用しないでください。部品の破損や強度部品をいためる恐れがあります。

カバークッション類の取り付け



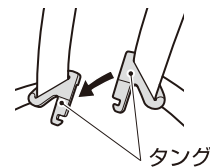
柔軟材料(カバークッション類・発泡材等)や構成部品を取り外した状態での使用、指定部品以外のものと取り換えての使用は行わないでください。

① シートにシートクッションを被せてハーネス、バックルを通す。

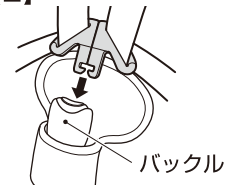


② 左右のタングを合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込む。

【1】



【2】



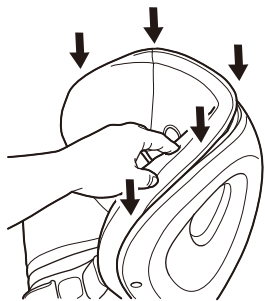
【3】



カバークッション類の取り付け

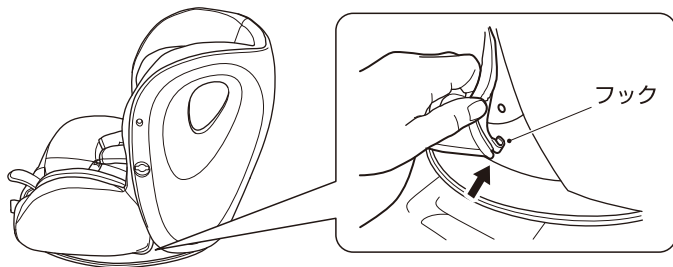
③ シートクッションをシートに取り付ける。

【1】 上部、側面の隙間に
シートクッションを入れる。



シートクッションが隙間に入れにくい場合は、
先の尖っていないヘラなどを使用すると、入れやすくなります。

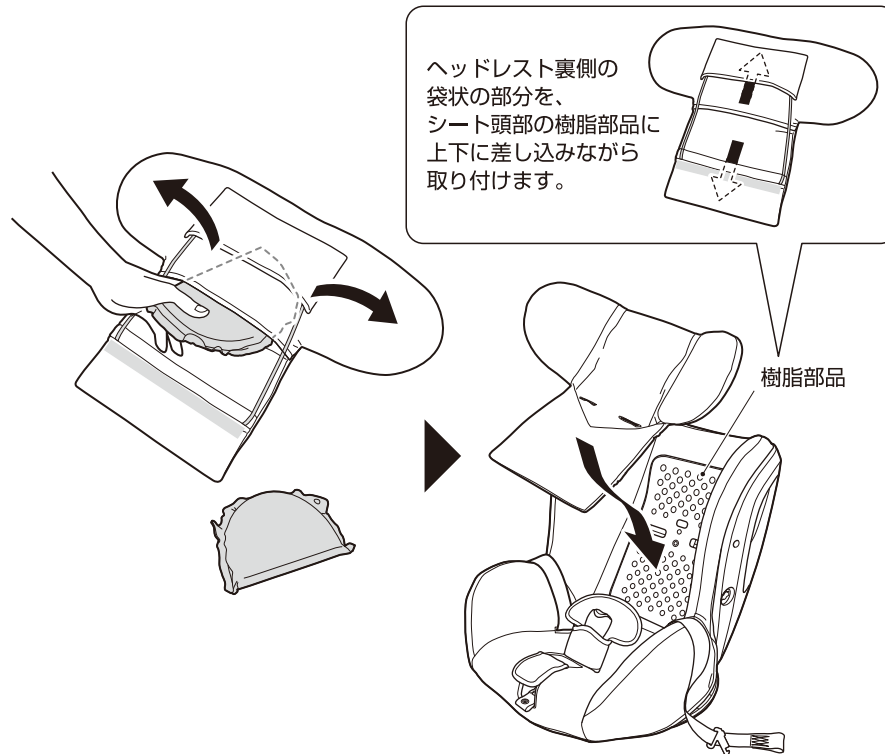
【2】 側面のフックを取り付ける。



61

④ ヘッドクッション内側にパッドを入れ、シートに取り付ける。

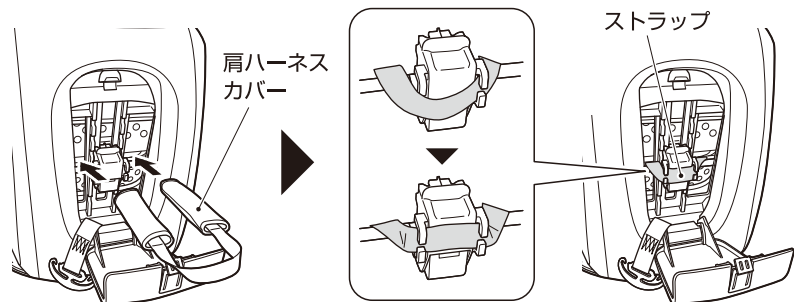
ヘッドレスト裏側の
袋状の部分を、
シート頭部の樹脂部品に
上下に差し込みながら
取り付けます。



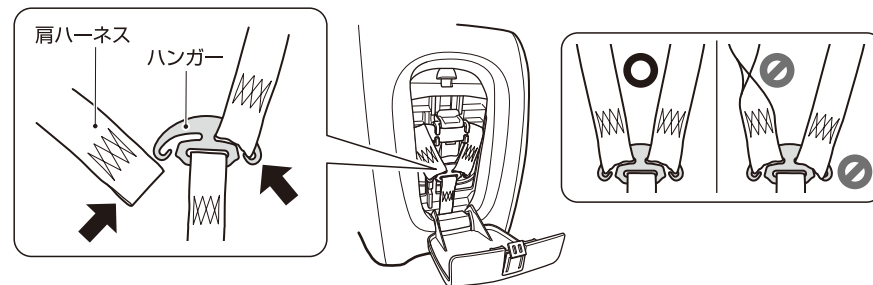
62

カバークッション類の取り付け

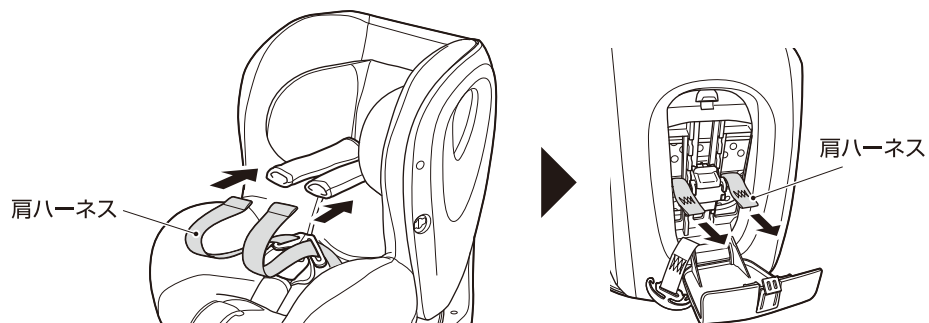
⑤ 背面より肩ハーネスカバーを差込み、ストラップをガイドにかける。



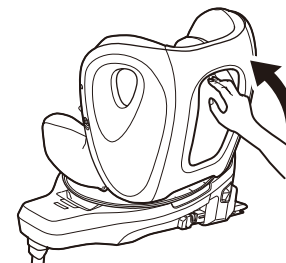
⑦ ねじれが無いように、ハーネスをハンガーにかける。



⑥ ハーネスを肩ハーネスカバー、肩ハーネス通し穴に通し、背面より引き出す。



⑧ 背面のバックカバーを閉める。

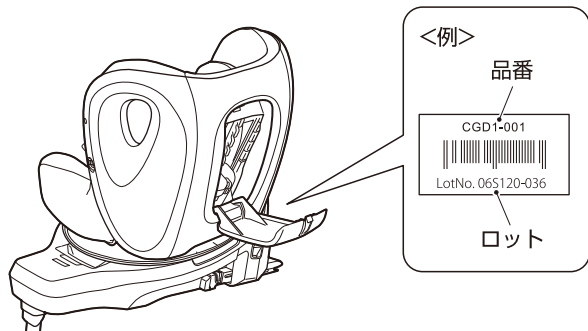


警告 肩ハーネスをハンガーに正しく取り付けていないと、事故時にハーネスが抜けるなどして、重大な傷害を負う可能性があります。

アドバイス ハンガーを側面に引っ掛けていない場合、底に落ちている可能性があります。その場合は底から拾い上げてください。

補修部品について

お買い上げの販売店またはお客様相談室(0120-70-5441)までご連絡ください。
お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、
背面のバックカバー内側に貼っているラベルの品番をお伝えください。



取扱説明書は、
後ろのポケットに入れて
保管してください。



取扱説明書

